

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスくれよん			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	隣接された同法人『ばすてる』との連携、つながりのある支援	同法人内との連携、合同活動 (夏のわくわくナイト、毎月のコミュニティセンターでの活動など)	同法人内だけでなく、他法人との合同活動を行う
2	様々な活動内容やイベントの開催	子どもたちが社会に出たとき…を見据えた、地域貢献、体験型の支援(リサイクル活動、お買い物支援など)	取り組みの継続、スキルアップを目指す活動(くれよんマーケット、くれよん通貨によるお菓子選び等)
3	豊富な職員配置による目の行き届いた支援と、過ごしやすきれいな環境	静と動を分けられる部屋の工夫、過ごしやすい環境づくりの設定	ユニバーサルデザインへの取り組み

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、定期的な保護者への周知・説明が不足している。	策定済みでマニュアル化されており、法人内で事業所から担当職員を決定し、会議研修を行い、保護者への周知も行ってはいますが、機会が少ないと思われます。	ホームページ、事業所通信、法人通信、各家庭のLINEグループでの周知徹底や見える化を意識した活動を行っていききたいと思っています。
2	通所する子どもたちの年齢層が広く、集団での活動の設定が難しい。	子どもたちの年齢、それぞれの特性について集団での活動を行う際は難易度設定や目標設定に悩むことがあります。同法人内事業所も定員の関係で受け入れられないことも要因と考えられます。	保護者や子どもたちには寄り添いながらも、計画的な受け入れ、年齢が上がれば同法人内の保育所等訪問支援に移行していく等、支援を途切れさせずに取り組んでいきたいと思えます。
3			